

七つの七倍

毎日曜日、キリスト者は教会でミサを捧げます。

聖書を読み、司祭の説教を聴き、賛美歌を歌います。司祭としてミサを捧げるたびに、私は心が痛くなる箇所が二箇所あります。

一つは「主の祈り」を唱える時です。「主の祈り」は、イエスさまが教えてくれた祈りですが、神に向かって"天におられる私たちの父よ"と呼びかけます。私だけの父ではなく、私達みんなのお父さん、わたしの嫌いな人のお父さんでもあります。また"私達が人を許すように、私達の罪を許してください"という厳しい祈りを唱えます。まだ許せない人がいる時に、その祈りを唱えることは、正直に言って、非常に複雑な心境です。

もう一つは、平和のあいさつを交わすときです。典礼の中で進められているあいさつですが、お互いに向かい合って"主の平和"とあいさつします。本当は会いたくない人、許せない人にこそ神の平和を交わすべきなのですが、なるべく相手と目を合わせないようにしてあいさつすることもあります。

マタイ福音書(十八・二十一～三十五)で、イエスさまは、許しの大切さを、例え話で語っておられます。「兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」というペトロの質問に、「七回どころか七の七十倍まで赦しなさい。」と答えておられます。四月二日に亡くなられた前ローマ法王ヨハネ・パウロ二世は、10年程前、聖ペトロ寺院の広場で、トルコ人に撃たれて重症を負われましたが、その犯人に会いに刑務所へ行き、一緒にコーヒーを飲みながら、心からの許しを与えられました。

アメリカのブッシュ大統領は、キリスト者として「主の祈り」を毎日唱えるそうですが、2001年9月11日のテロ以来、彼は許しの道よりも正義の道を選びました。

3000人を殺した人達を捕らえて罰を下すといって戦争を起こしましたが、その結果はアメリカ人だけで五千人以上、イラク人はその3～4倍の死傷者がでて、未だに平和は実現しておりません。もしブッシュ大統領が、アメリカ国民と共に、その犯人たちを許していたならば、平和に近づいていたに違いありません。戦争は世が始まって以来、ずっとありますが、イエスさまは平和の道を教えてくれています。



"神のごとくゆるりたい
ひとが投ぐるにくしみを
むねにあたため
花のようになつたらば
神のまえにささげたい"
(八木重吉)

1月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	美唄
1	日	神の母聖マリア 世界平和の日、元旦 P9 新年を祝う	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:安藤 第2:岡本 答唱詩編:間野/古野 オルガン:	11:00
8	日	主の公現 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P4平和を願う P10ご公現の祈り	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:古野 第2:室井 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:野呂	11:00
15	日	年間第2主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:西川薫 第2:本田 答唱詩編:多田/古野 オルガン:野呂	11:00
22	日	年間第3主日 教会から離れた信者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:岡本 第2:安藤 答唱詩編:高塚/野呂 オルガン:斉藤	11:00
29	日	年間第4主日 世界子ども助け合いの日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:野呂 第2:間野 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:斉藤	11:00

◆平日のミサ ○砂川教会:月曜日～金曜日 17:00、土曜日 10:00 ○美唄教会:金曜日10:30

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

○砂川教会

17日 聖アントニオ修道院長 多田博樹
21日 聖マリアアグネスおとめ殉教者 武内恵美子

○美唄教会

1日 神の母聖マリア 河野智子
21日 聖マリアアグネスおとめ殉教者 東加奈子、板垣春江

◆砂川教会 お知らせ

- ・ 8日(日) クリスマス飾り片付け、新年会はコロナ禍で未定
- ・ 20日(金) 初代主任司祭ヤヌワリオ・メンラード神父様の23回忌です
- ・ ロザリオ会は冬季(11~3月) 夜間の交通安全を考慮してお休みします
- ・ 毎週水曜日 10:00~ 聖書に親しむ会を実施しています

砂川 花当番	
7日(土)	古野
14日(土)	高塚
21日(土)	多比良
28日(土)	野呂

◆新たに洗礼を受ける方



高崎 友鐘 さん



久保 榮紀 さん

私が洗礼を受けるにあたりまして

高崎 友鐘

普通に生きていても人間はあらゆる罪を犯している生き物です。道を歩くだけでも小さな虫を踏み殺し、豚を殺して食べたり牛を殺して食べたりしてます。他の人間が犯した罪も間接的には自分がさせてしまっているのです。私がクリスチャンになるということは、そういう人たちのことも祈っていかねばならなくなるということだと考えております。私は洗礼の意味を自分が汚いから清い水で洗い流してもらおうという考え方で洗礼志願者になりました。また最近の私は人を敬うという気持ちを失い始めましたので、クリスチャンになる事で心新たに敬う心を取り戻さなければなりません。それにはまずは神様を敬うことにはじまり、あらゆる物事を敬い愛する心へと繋がると信じております。祈り方について勉強したいというのもあります。

常に心を新しく保つためには洗礼と悔い改めと毎週日曜日の御ミサは必要だと思います。